

**オリザ油化㈱、「菊の花エキス」新規訴求ポイント：抗アレルギー作用で
機能性表示食品受理！！**

－花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる目の不快感を軽減－

オリザ油化株式会社（愛知県一宮市）は、2014年に高めの尿酸値を下げる効果を訴求した菊の花エキスを上市している。この度、アレルギー様症状の1つである目のかゆみの改善が認められたため、機能性表示食品としての届出を行い受理された（届出番号：H204）ことを発表した。

菊の花に含まれるルテオリンには、アレルギー症状を抑制するメカニズムとしてインターロイキンのIL-4やIL-13産生に対する阻害作用を有すること更に、肥満細胞における脱顆粒の抑制が知られている。この度、同社では機能性関与成分をルテオリンとして、花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる目の不快感の改善作用を有する研究レビューをまとめ、同成分を配合した機能性表示食品の届出が受理されたことを発表した。

現在、同社ではルテオリン10.0%以上を規格した粉末である「菊の花エキス-P」とルテオリン0.1%以上を規格した水溶性粉末である「菊の花エキス-WSP」を上市している。届出が受理された製品は「菊の花エキス-P」を使用し、機能性関与成分のルテオリンが2粒あたり20mg配合されており、表示しようとする機能性として、「本品にはルテオリンが含まれています。ルテオリンは、花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる目の不快感を軽減させることが報告されています。」としている。

科学的根拠は、機能性関与成分であるルテオリンの経口摂取における花粉、ホコリ、ハウスダストなどによるアレルギー反応に伴う目鼻症状に及ぼす影響についてのシステムティックレビュー（SR）である。SRに採用したRCTの臨床論文は、CROでスギ花粉飛散時期に目・鼻に不快症状を有する健康な成人日本男女を対象にルテオリンを含む「菊の花エキス」の継続摂取による目及び鼻の各種症状スコアへの効果を評価したランダム化二重盲検比較試験である。そのヒト臨床試験結果として、1日あたり20mgのルテオリンを継続摂取することにより、花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる目の不快感を軽減することが示されている。

今回の新規受理によって、花粉やハウスダストなどのアレルギー様症状の緩和を訴求する新しい機能性表示食品が可能となったと同時に、1つの素材で尿酸値低下とのダブルヘルスクレームが実現可能となった。

同日、トマト種子エキス・P のリコペロサイド H を機能性関与成分とした「肌の弾力を維持し、肌の健康に役立つ」機能を謳う機能性表示食品の届出も受理・公開されており、同社では 12 素材 17 ヘルスクレームの機能性表示食品対応素材が提供可能となった。今回の届出受理を機に菊の花エキスを尿酸値低下作用だけでなく、花粉、ホコリ、ハウスダストによる目の不快感の軽減についても訴求されたい機能性表示食品に興味ある潜在顧客への積極的な提案を行っていく。